答え 4月14日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



オレンジデーにちなんで「みかん・かんきつクイズ」

【第1問】「温州みかん」。名前は中国の地名ですが、生まれたとされるのは？

① 中国　② 日本　③ アメリカ

鹿児島県の長島で、中国から伝わったかんきつから偶然生まれたと考えられています。「温州」は、中国のみかんの名産地の名前です。

【第2問】江戸時代に、みかんといえば主にどれだった？

① 紀州みかん　② 伊予かん　③ デコポン

小粒の「紀州みかん」が主流でした。温州みかんが広く食べられるようになったのは、明治時代からです。

【第3問】七味唐辛子に入る、みかんの皮を干したものは？

① 山椒　② 陳皮　③ ごま

「陳皮（ちんぴ）」です。七味の中身はお店ごとにちがい、唐辛子のほか、山椒（さんしょう）・青のり・ごまなども使われます。

【第4問】ゆず湯に入る習わしがあるのは、どの日？

① 春分　② 夏至　③ 冬至

冬至です。「冬至」と「湯治（とうじ）」をかけた語呂合わせともいわれます。冬至には、かぼちゃを食べる習わしもあります。

【第5問】かぼすの収穫量が、全国の9割以上をしめる県は？

① 徳島県　② 高知県　③ 大分県

大分県です。「大分かぼす」は地域の特産品として登録されています。よく似た「すだち」は、徳島県の名産です。

【第6問】種のない温州みかん。江戸時代はきらわれたといわれます。なぜ？

① 縁起が悪いとされた　② すっぱかった　③ 皮がかたかった

種がないことが「跡つぎができない」に通じると、家が続くことを大切にした時代にきらわれたそうです。明治になって人気が出ました。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます